

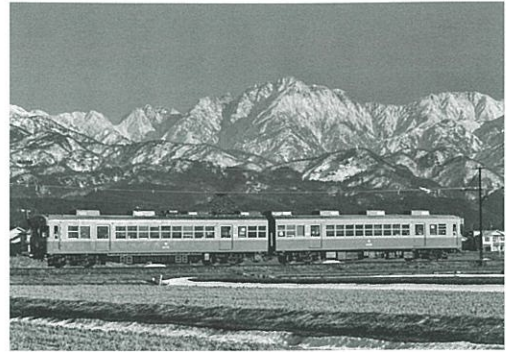
# 滑川民報

第166号  
2026年2月発行

連絡先 ☎475-3767  
日本共産党滑川市委員会  
日本共産党議員団



滑川市議会議員  
古沢 利之



富山地鉄電車から  
眺められる雄大な立山連峰

## 12月議会報告

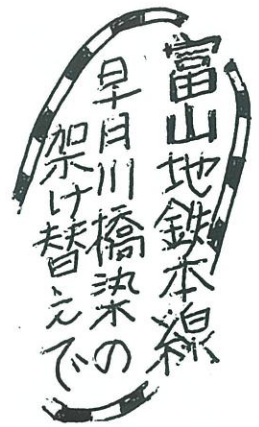
古沢 「子ども・子育て基本  
条例」(案)が提案されてい  
る。条例ではこどもの権利の  
尊重が強調されている。権利  
が侵害あるいは尊重されな  
い事態が発生した場合の対  
応はどうするのか。  
富山県でも(仮称)「子ども  
の権利に関する条例」が検討  
されている。そこでは「子ども

子ども・子育て基本  
条例の  
権利侵害の対応に  
基本条例  
事例による  
機関設置を

滑川市議会の12月定例会は、12月9日から23日まで開催され  
ました。改選後初めての定例会でした。市長から提案された令  
和7年度一般会計補正予算(第3号)、新規条例としての「こど  
も・子育て基本条例」など13議案と報告1件はいずれも可決さ  
れました。古沢議員が再々求めてきた学校体育館への空調設備  
は、この補正予算で中学校2校へ設置されることになりました。  
実際に稼働するのは夏以降になる見込みです。また、最終日  
に国の補正予算に合わせた一般会計補正予算(第4号)等が追  
加議案として提案され可決されました。  
古沢議員の質問と対する答弁の要旨は次のとおりです。

支援委員会」の設置が検討さ  
れている。同様に何らかの機  
関を検討すべきではないか。  
高倉教育委員会事務局長  
本市では令和6年度から  
「子ども家庭センター」、7年  
度から児童館に「キラット保  
健室」を設置して相談体制を  
強化してきた。条例成立後に  
作成するリーフレットに相

談先を掲載するほか、子ども  
たちに配布されているタブ  
レットから相談できる仕組  
みも予定している。県が制定  
を予定している条例では「子  
ども支援委員会」の設置が規  
定されており、必要があれば  
連携して対応したい。  
古沢 日本弁護士連合会の  
子どもの権利委員会は相談  
のハードルを低くして、解き  
ほぐして解決に向かう機関  
が必要だとしており、全国で  
は40を超える自治体で設置  
されている。改めて見解はど  
うか。  
高倉事務局長 本市の子育  
て支援施策は相談体制も含  
め、子育て世帯の方には満足  
していただけるものと認識し  
ており、当面は相談体制の充  
実でカバーしていこうと考  
えている。他自治体の状況も考  
慮し、必要であれば条例改正  
も視野に入れていきたい。



古沢 早月川橋梁の架け替えについて、滑川市が30億円から85億円と推計した。これまで地鉄としても補修、補強をしてきたものと思う。この推計は滑川市がすべき事案だったのか。

水野市長 地鉄に確認したところ、自社での点検は隔年、専門業者の点検は3年ごとに実施とのことだ。建設から89年経過している橋梁で、中長期的には架け替えが必要になると思う。全国のホームページと全国事例から大まかな数字として滑川市から発信した。

古沢 この数字が独り歩きしている。しかも、市が公表

負担は30と85億円？

市長 全額が滑川市の負担ではない

したことで、滑川市の負担が30億から85億円と受け取ら

# 「あいの風」の協議参加 本線「廃止」が前提か？

古沢 意見交換会で市長は、「あいの風とやま鉄道」も交えた議論が必要と語られたとのことだ。地鉄線への乗り入れは「JR」さらに以前の「国鉄」時代からいわれ、実際に乗り入れていた。現在は富山駅の高架化に伴って「渡り線」が撤去され、難しいとされている。乗り入れる場合、どこかでこの「渡り線」を設置する必要がある。よく新魚

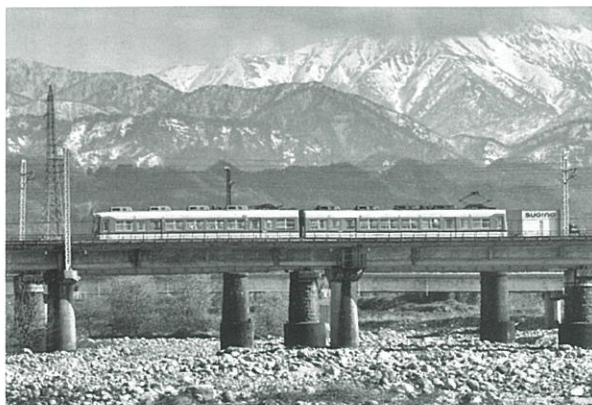
れている。橋梁は全線でどう負担するかの話ではないか。

水野市長 説明会では滑川市の負担がこれだけ、ということとは話していない。うまく伝わっていないなら、今後は慎重に、言葉を選んで説明したい。

津から東側との話が出るが、滑川・新魚津間の廃線が前提のように聞こえるが、違うか。

水野市長 仮に廃線になるならと発言し、「あいの風」との協議も選択肢ではないかと言っている。「渡り線」が新魚津から先なのか、滑川よりこちら側でも可能かという方もある。あらゆる可能性、選択肢があると思うので、

完成から96年の早月川橋梁



「あいの風」にも入ってほしいと言っている。  
(3面へ続く)

古沢 線路はつながっててこそだ。橋梁は本線の列車すべてが通る。事業者も含め、全線で負担をどうするかの話ではないか。

水野市長 おっしゃるとおりだ。

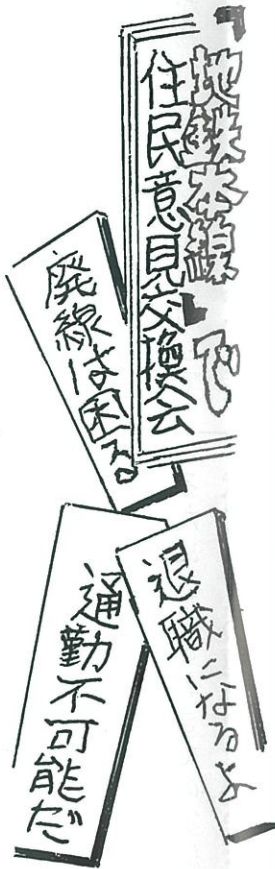
# 利便性の向上は 白川第一の架け替え

(2面の続き)

古沢 4月に運賃改定と減便が実施された。以前の意見交換会で高校生の保護者から、学校が早く終わっても利用できる便がないと発言があった。「負のスパイラル」になっている。「ローカル鉄道

の再構築事業」を視野に入れても、利便性の向上を図る必要がある。どう考えているか。

水野市長 定期運賃の引き下げ、運行本数を元に戻すなど、費用も含めて考える。仮に廃止となった場合は、東滑川駅は山側からの利用、滑川駅は地鉄との連絡橋設置などの利便性向上策を考える。

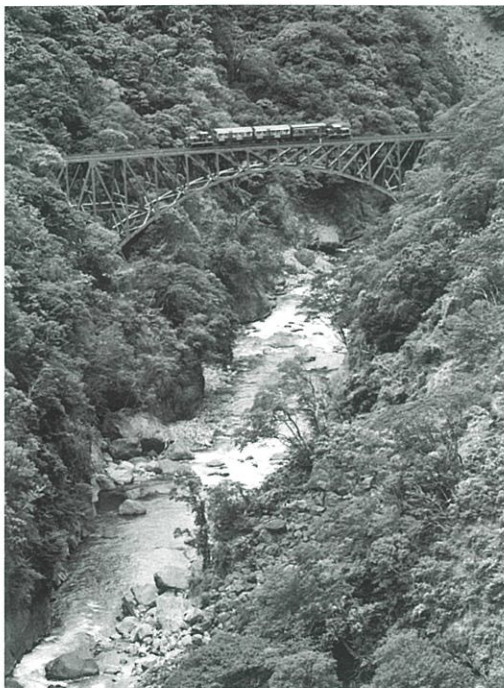


地鉄本線のあり方をめぐり、各地域で意見交換会が開催されました。「廃線」となると大きな影響を受ける「浜加積」地区公民館では、先に市が公表した「早月川橋梁」の架け替え工事費について疑問が出され

ました。また、積雪時には浜加積駅から地鉄本線を利用し、滑川駅で「あいの風鉄道」に乗り替えて通勤しているという方からは「廃止になったら通勤できなくなる、退職だ」との意見も出されました。

## JR豊肥本線白川第一橋梁

熊本県阿蘇にあり地上約60m、当時国鉄では最高高さ。2016年熊本地震で被災し、2023年に架替し運転を再開している。



## JR山陰線餘部橋梁



JR山陰線餘部(あまるべ)駅「地上約40m」周囲の鉄道橋で、115年が経過。老朽化で現在は廃線となり、駅と橋梁の一部は観光資源整備しエレベーターで昇れるようになっている。

※「早月川橋梁」架け替え費用の「概算」は市の説明によると、兵庫県のJR山陰本線餘部橋梁架け替え事業と熊

本県のJR豊肥本線(南阿蘇鉄道)白川第一橋梁架け替え事業を参考にしたとしています。

# 加齢性難聴者への

## 補聴器購入助成は

### 制度改善が必要



古沢 加齢性難聴者への補聴器購入助成制度は、全国で520以上の自治体に広がっている。本市は令和5年度から、県下2番目に実施となった。6月の質問に対しては、令和5年度は7件、6年度は2件の実績と答弁があった。6年度は他に、所得要件を満たさず受理できなかったのが2件と答弁があった。

国立長寿医療研究センターによると、日常生活で支障のある難聴者の割合は、70歳代の男性で5人に1人、女性で10人に1人に上るときに上るときの。本市の制度の趣旨は何か。

「要綱」の第1条で明記されているとおり、「中高齢者の補聴器の装用を促し、将来予想される認知症及びうつ病等の発症リスクを低減させるため」だ。これまでの実績状況で、この趣旨が実現できるか、との6月議会での私の質問に、石川健康福祉部長から「達成が難しい」と率直な答弁があった。制度の改善が必要ではないか。

石川健康福祉部長 本事業については、指摘のとおり制度創設時に想定していた利用状況には達していない。加齢による難聴は高齢者の生活の室に大きくかかわる課題であり、他自治体の取り組み

み状況も踏まえ、内容の見直しと制度の周知に努めたい。古沢 県内で最初に導入された小矢部市では、2年目から所得要件をなくされて、利

(富山県内 補助器助成制度の状況)

	所得制限	助成金(上限)	令和4年	令和5年	令和6年
滑川市	住民税非課税	2万円		7件	2件
小矢部市	制限なし(令和5年から)	3万円	5件	101件	75件
黒部市	住民税非課税	5万円			未確認
	住民税課税	2万5千円			未確認
入善町	制限なし(令和7年創設)	2万円			

用が101件へと大幅に増えたと聞いている。今年度から実施の入善町も所得要件はない。改めて見解はどうか。石川健康福祉部長 制度の拡大と同時に、周知が徹底されていないこともあると思う。今年度、地域包括ケア推進研修会の会場で制度の周知を行った。今後も、周知、制度について検討していく。

## 両中学校への

### 空調設置へ

冒頭でも紹介したとおり、今回の12月補正予算で滑川・早月両中学校への空調設置がようやく予算化されました。両校合わせた予算規模は3億6千3百万円余りです。予算は新年度へ繰越し入札等は新年度の予定で、共用開始は11月の見込みとします。